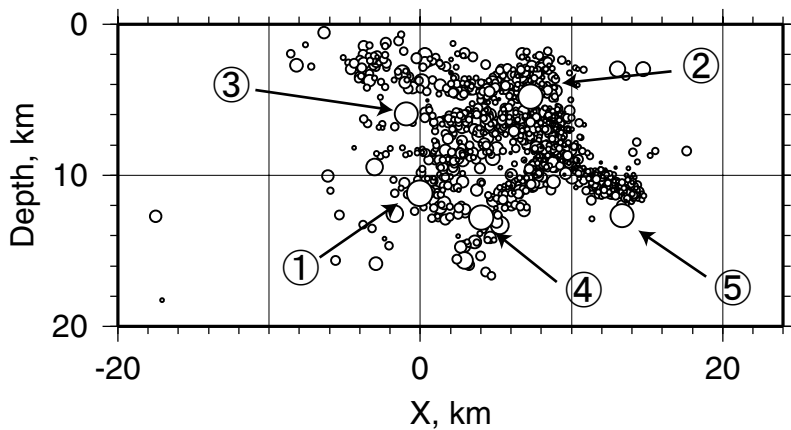
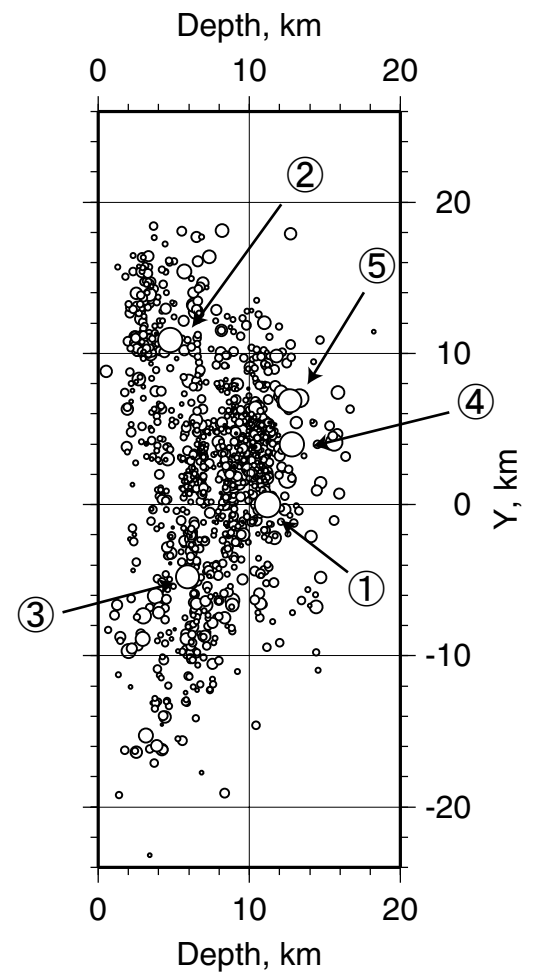
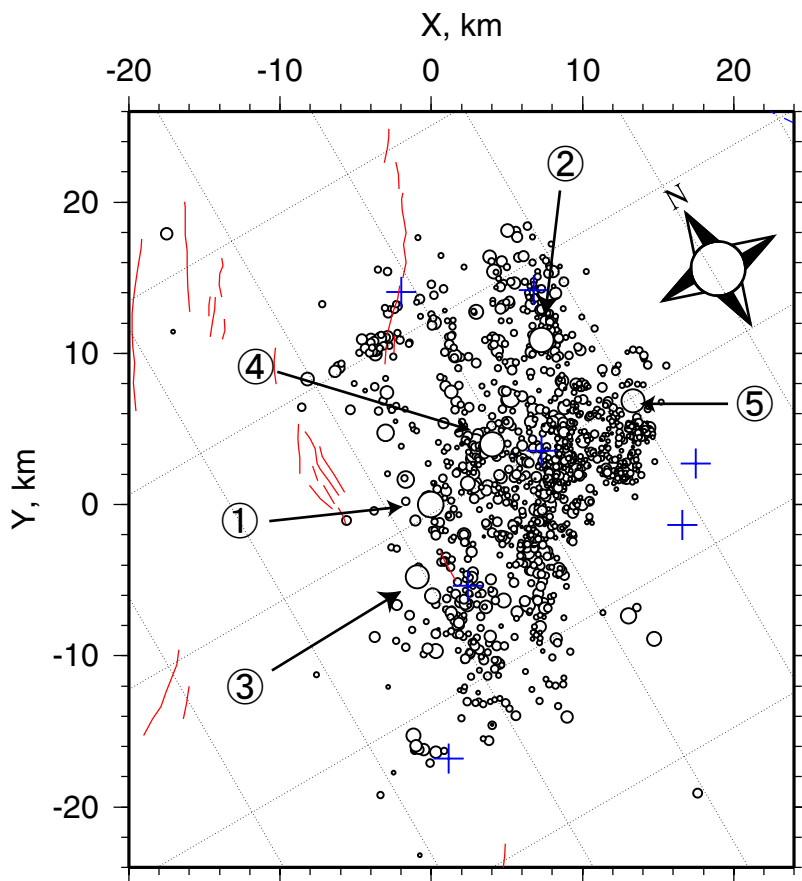
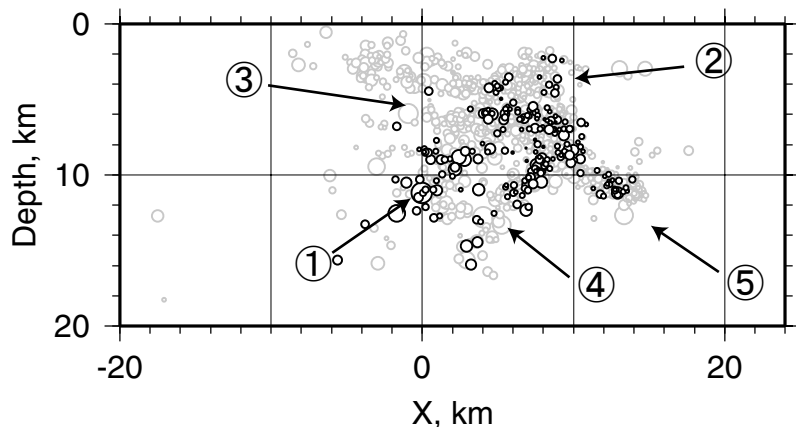
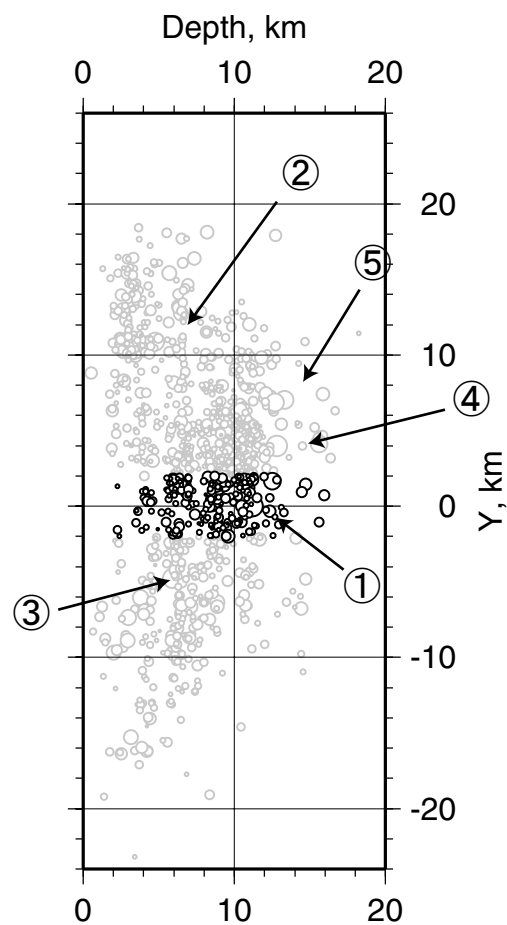
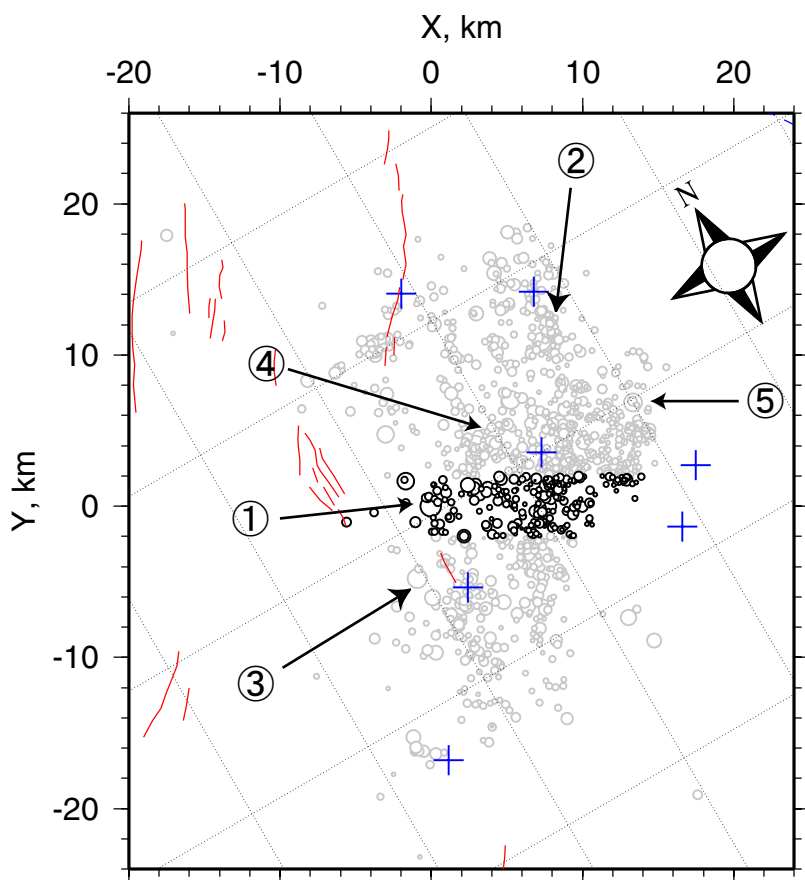


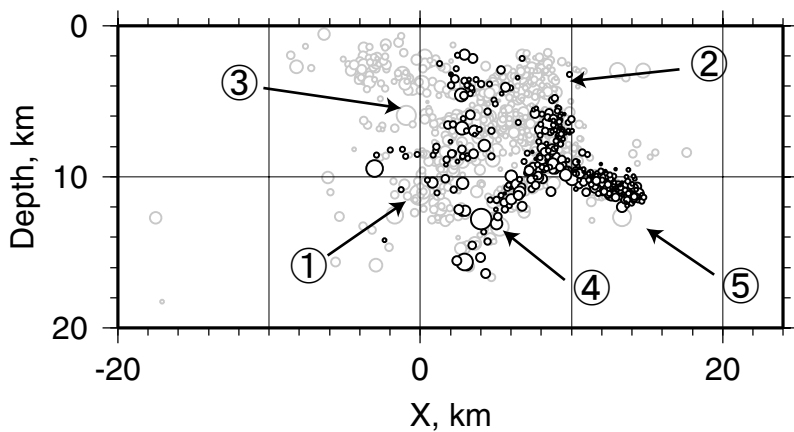
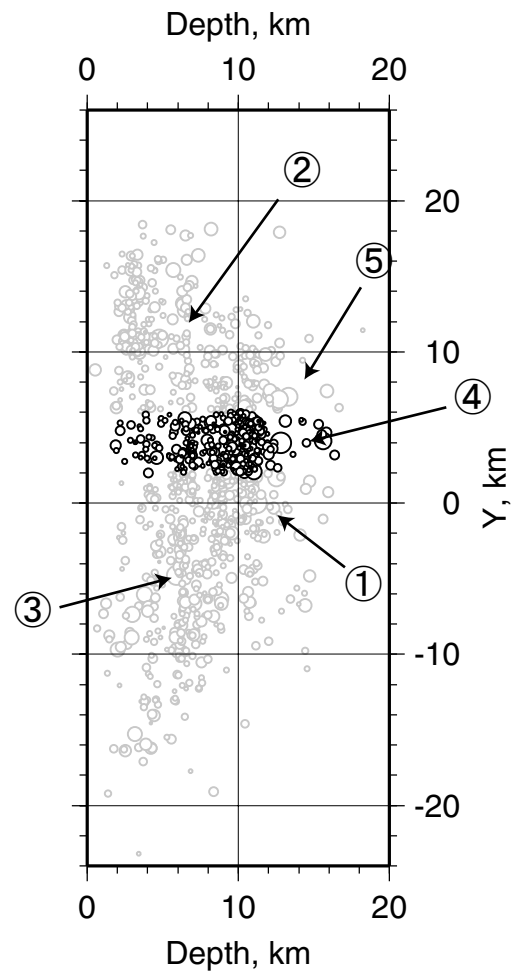
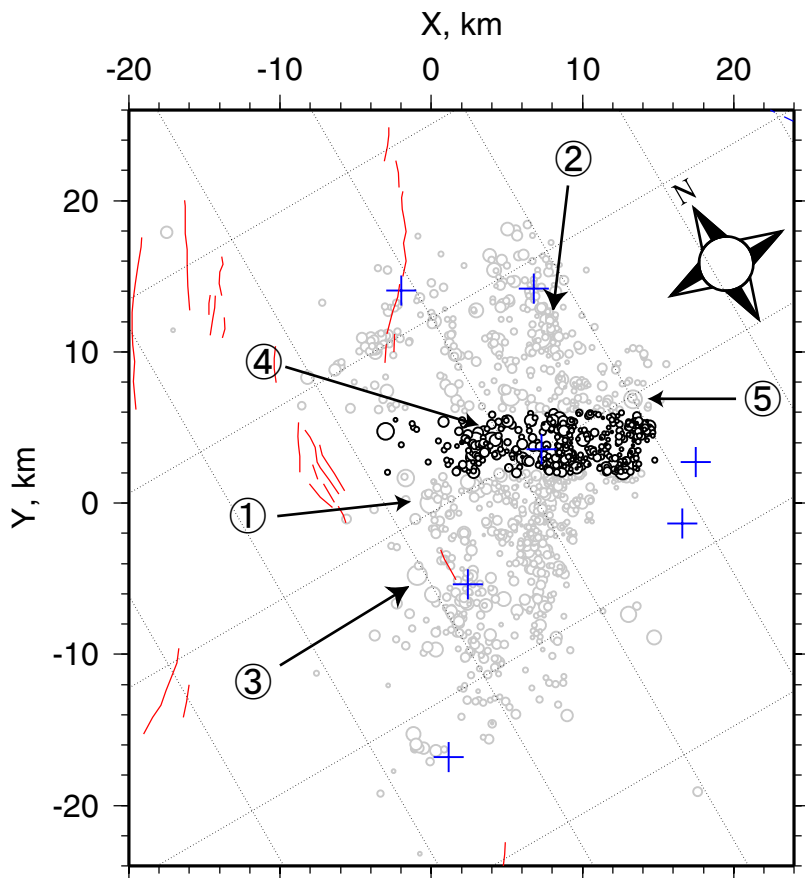
自動検測のうち精度のよいデータと手動検測のデータとを用いて、JHD法を適用して得られた余震分布。期間は本震の発生から10月いっぱい。M6以上の地震を白丸で示す（番号は発生順）。+は観測点（臨時オンライン点3点を含む）。震源誤差が1km未満の地震のみをプロット。



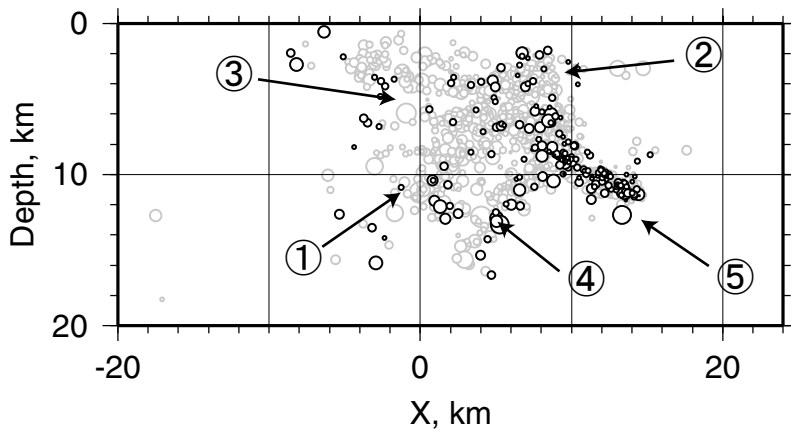
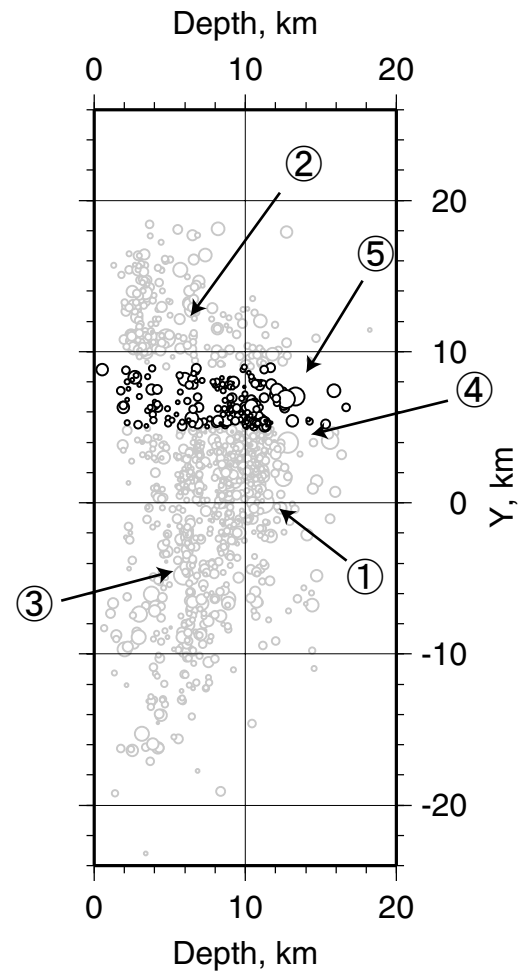
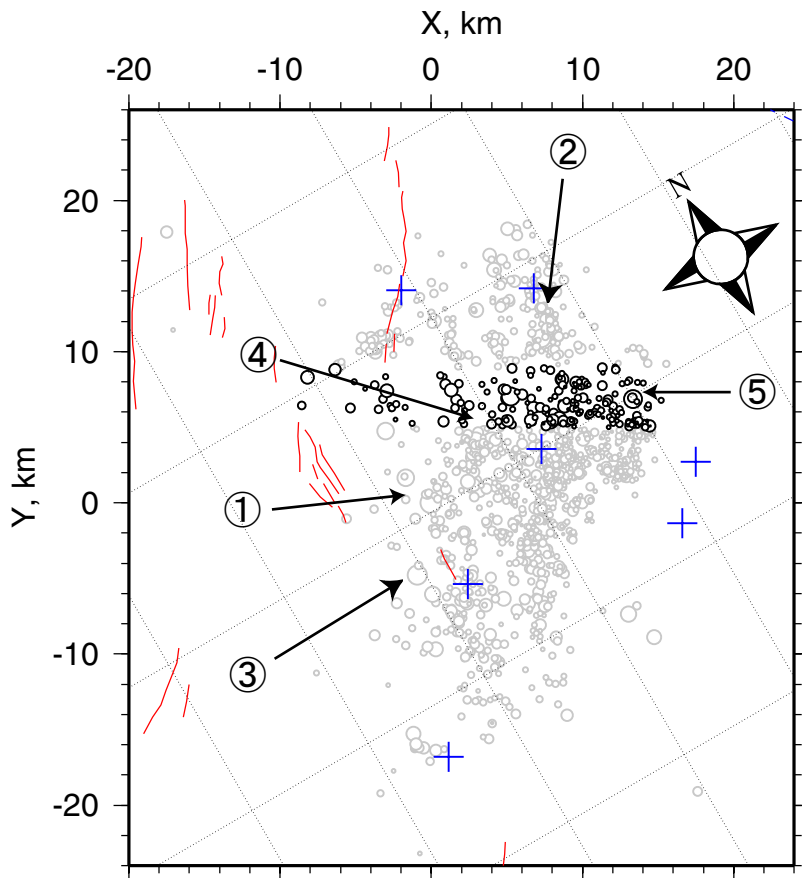
京大・九大と気象庁の手動検測のデータとを用いて、JHD法を適用して得られた余震分布。期間は本震の発生から10月いっぱい。M6以上の地震を白丸で示す（番号は発生順）。+は観測点（臨時オンライン点3点を含む）。震源誤差が1km未満の地震のみをプロット。



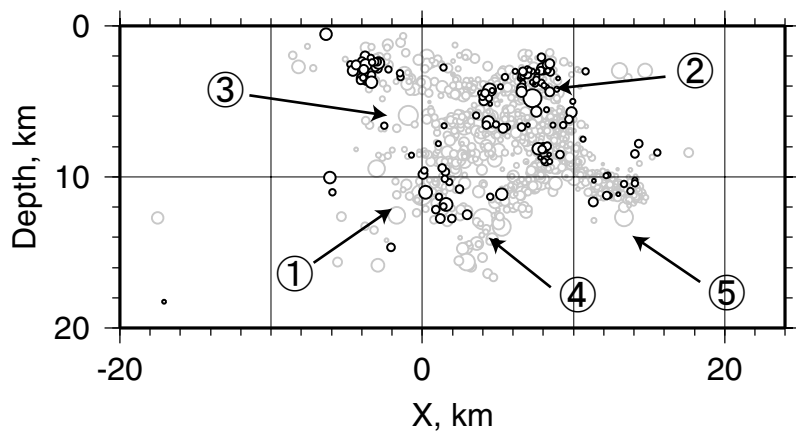
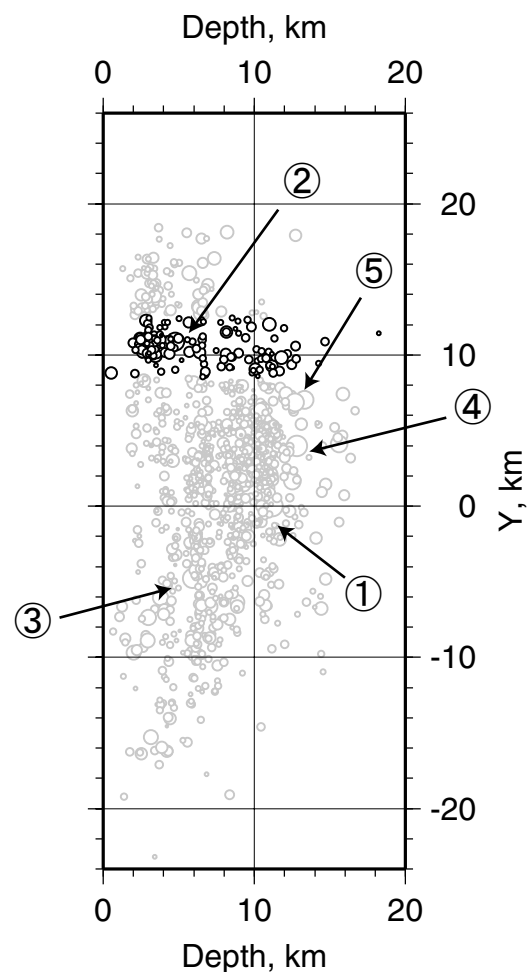
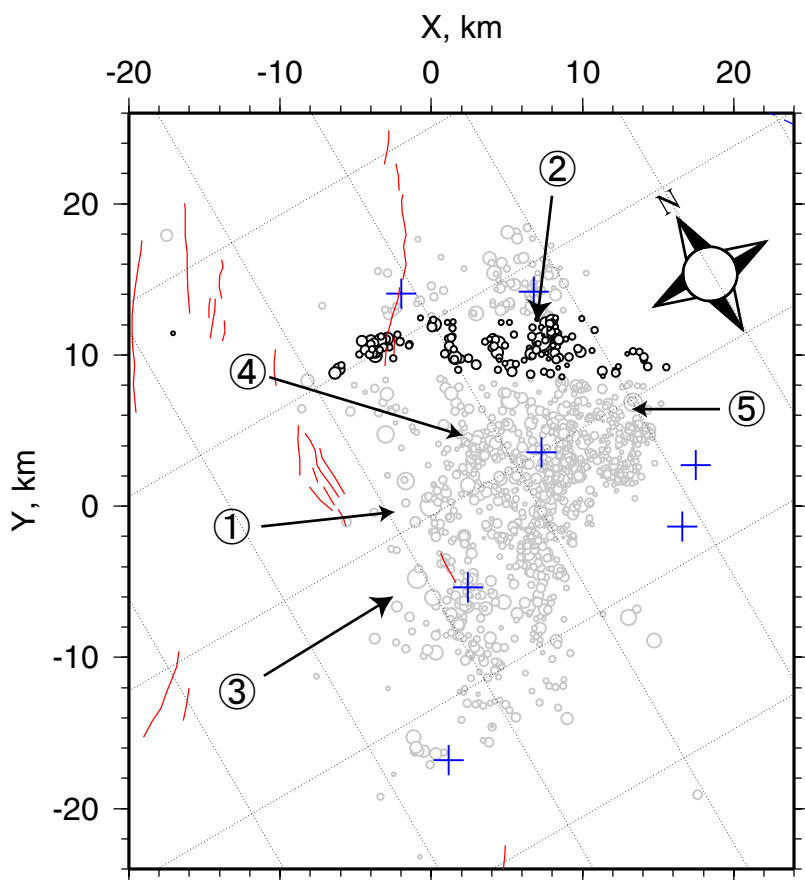
①の地震を中心にY軸方向に幅4kmの領域を取り、その中に発生した地震の分布を黒で示す。全体像をグレーで示す。その他は前図と同じ。



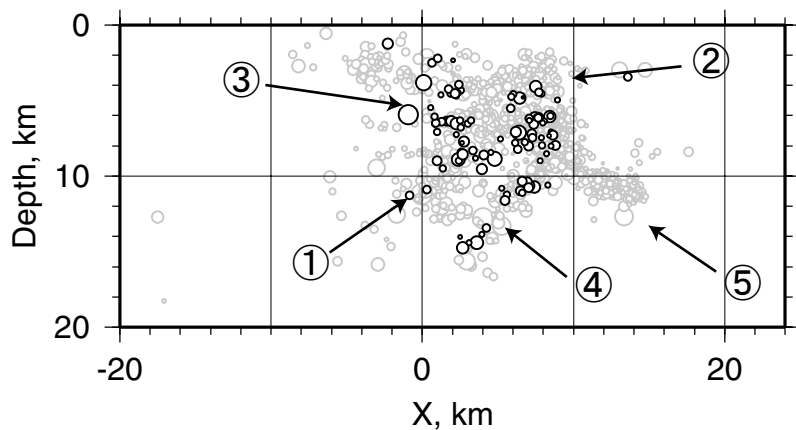
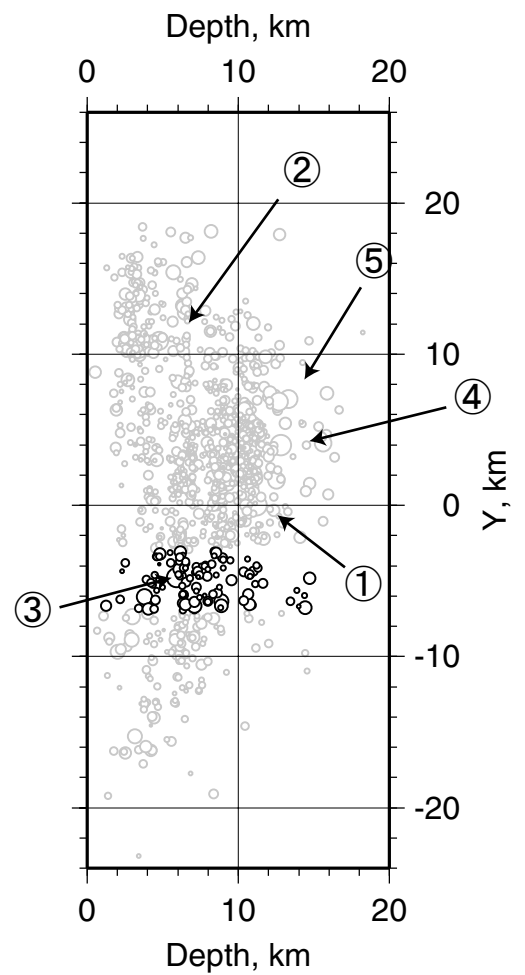
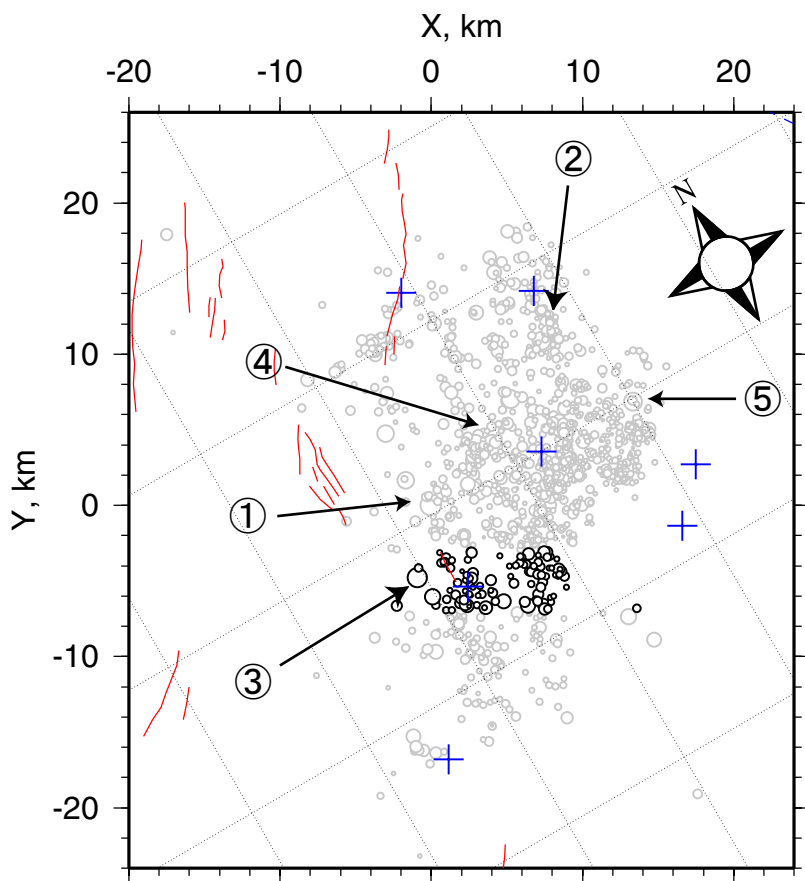
④の地震を中心にY軸方向に幅4kmの領域を取り、その中に発生した地震の分布を黒で示す。全体像をグレーで示す。その他は前図と同じ。



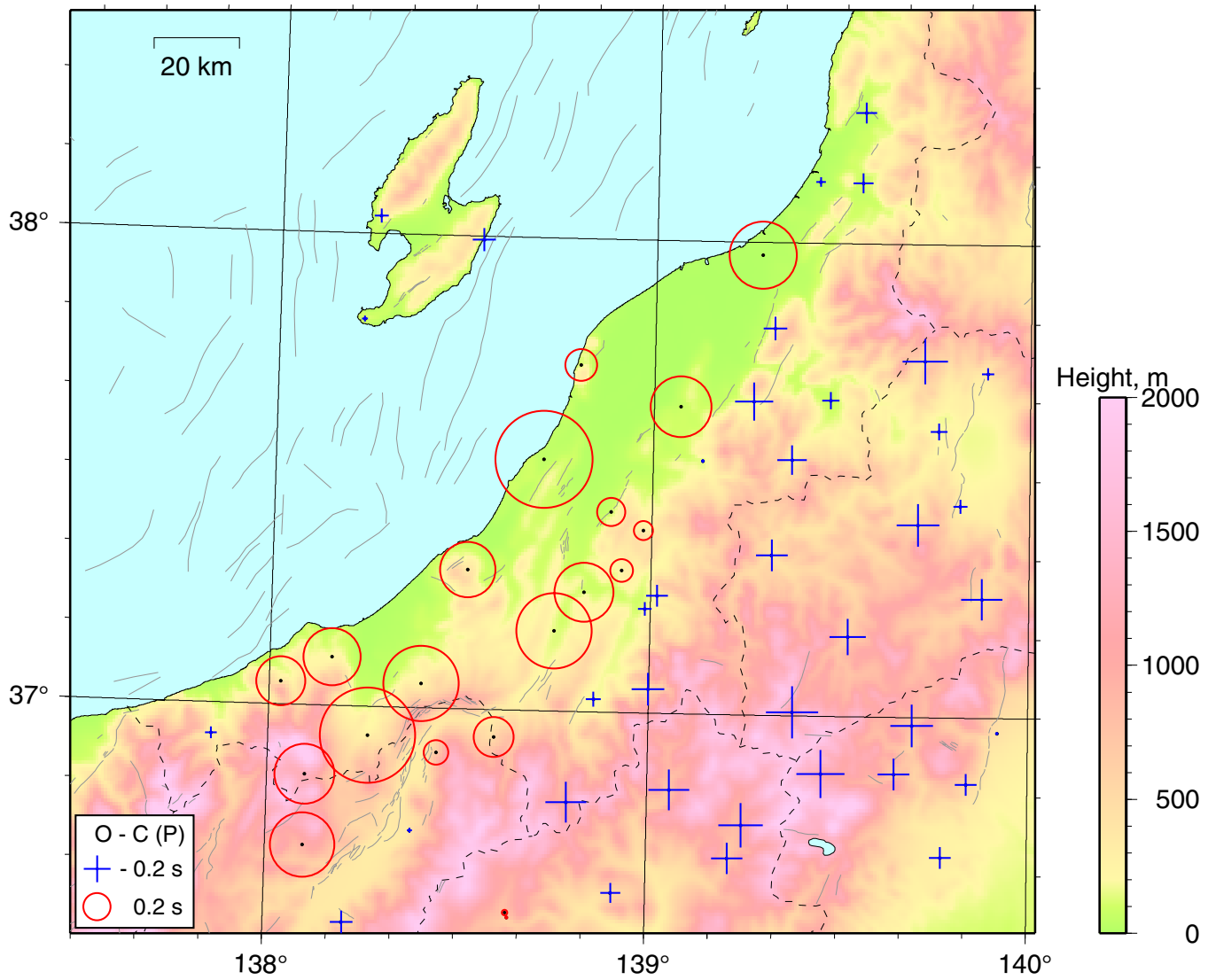
⑤の地震を中心にY軸方向に幅4kmの領域を取り、その中に発生した地震の分布を黒で示す。全体像をグレーで示す。その他は前図と同じ。



②の地震を中心にY軸方向に幅4kmの領域を取り、その中に発生した地震の分布を黒で示す。全体像をグレーで示す。その他は前図と同じ。



③の地震を中心にY軸方向に幅4kmの領域を取り、その中に発生した地震の分布を黒で示す。全体像をグレーで示す。その他は前図と同じ。



JHD法で求められたPタイムの観測点補正值（観測走時と理論走時の差）。  
○で正の残差、+で負の残差を示す。